

# カンボジアと日本 過去と未来

## —カンボジア難民の経験を通して—

講演者経歴：1974年日本政府(文部省)国費留学生としてカンボジアより来日。東京外国語大学外国語学部附属日本語学校を経て、東京学芸大学教育学部卒業。ポルポトの政変により難民となる。日本で、大学での非常勤講師、レストラン・翻訳会社経営のかたわら、日本文学をカンボジア語に翻訳し、活動が広く認められる。2010年法政大学大学院国際日本学インスティテュートで博士号取得。現在、プノンペン王立大学言語学部教授および東南アジア文化支援プロジェクト代表。

日時：2017年3月11日(土) 14時～15時40分

会場：東京外国語大学 留学生日本語教育センター (さくらホール)

講演者：ペン セタリン 氏

**参加費無料 予約不要**

直接会場へお越しください

講演は日本語、Q&Aを含め90分ほどの予定です



### 日本政府国費留学生制度とは

日本政府(文部科学省)の国費外国人留学制度は1954年に創設され、学部留学生・研究留学生・教員研修留学生など7つのプログラムで構成されています。本センターの前身である外国語学部附属日本語学校は、1970年に学部留学生の予備教育機関として設置され、現在は日本語教育を中心に様々な留学生教育プログラムを実施しています。

### 会場への行き方

JR中央線：武蔵境駅のりかえ、西武多摩川線で多磨駅下車、徒歩5分  
京王電鉄：飛田給駅北口より、多磨駅行き京王バスにて「東京外国語大学前」下車

### お問い合わせ

講演会担当：jlc-koenkai@tufs.ac.jp  
TEL：042-330-5775